

Ⅲ 調査結果

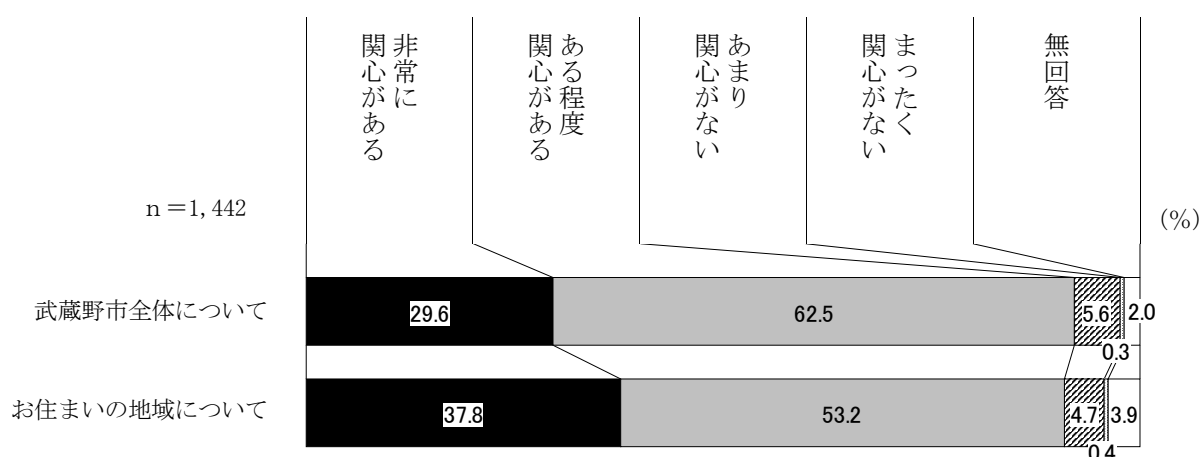
1 お住まいの地域のことについて

1-1 地域への関心度

◎ 〔武蔵野市全体について〕、〔お住まいの地域について〕で「関心がある」がともに9割強

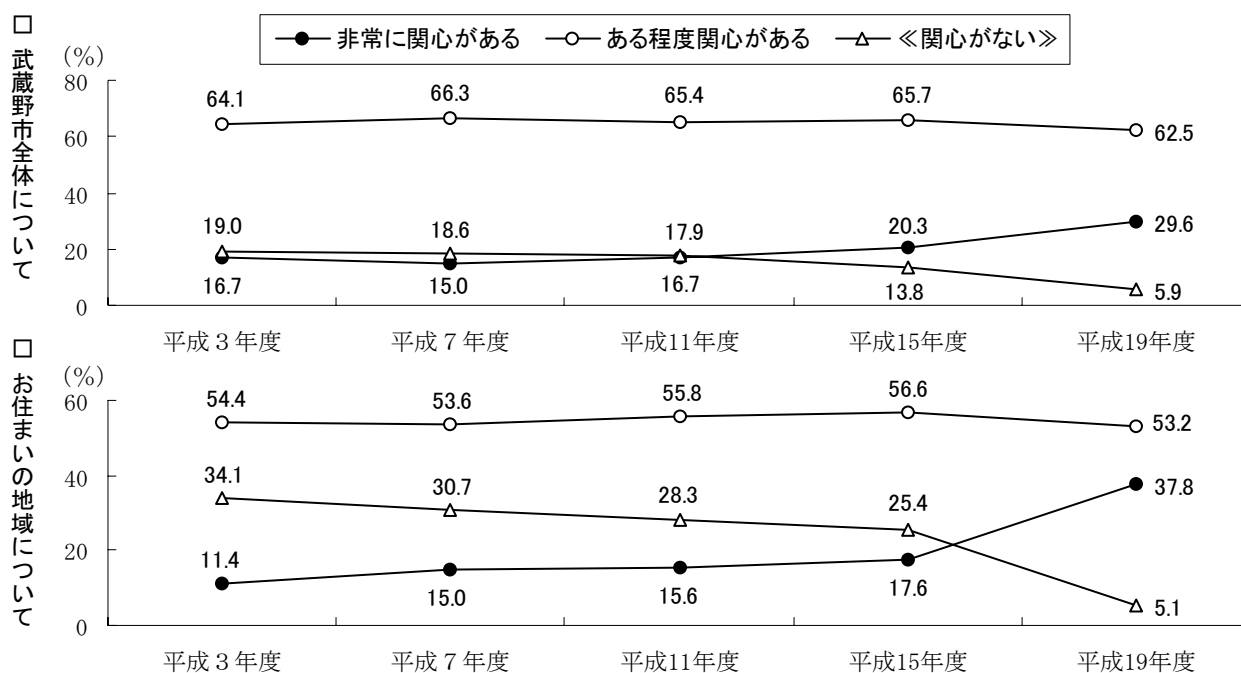
問1 あなたは、武蔵野市全体のできごとや動きにどの程度関心をお持ちですか。また、お住まいの地域のできごとや動きについてはいかがですか。（○はそれぞれ1つ）

図表1-1 地域への関心度



地域への関心度としては、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた「関心がある」が〔武蔵野市全体について〕（92.1%）、〔お住まいの地域について〕（91.0%）でともに9割強と多数を占めている。（図表1-1）

図表1-2 地域への関心度（経年比較）

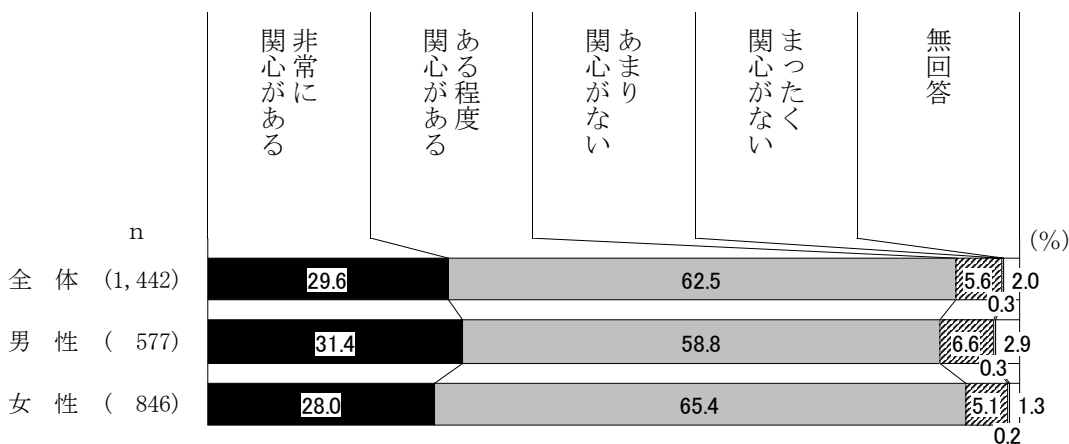


過去の調査と比較すると、「武蔵野市全体について」では、「非常に関心がある」が平成15年度と比べ9.3ポイント増加している。《関心がない》は減少傾向が見られる。「お住まいの地域について」では、「非常に関心がある」が平成15年度と比べ20.2ポイント増加、《関心がない》が20.3ポイント減少と逆転している。

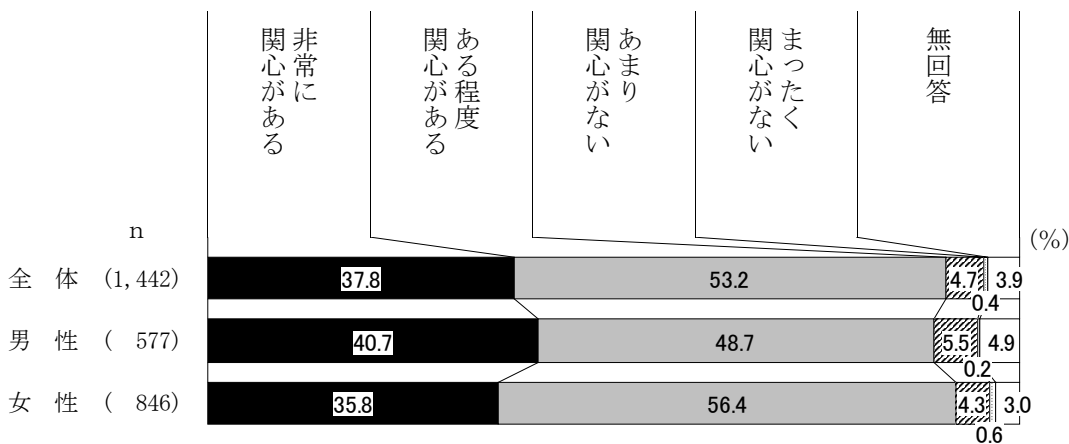
特に「お住まいの地域について」の関心度は大幅に上昇しており、近隣の人との関わり合いや、地域のできごとに対して関心が高まっていると考えられる。行政と市民の協働が進む中で、地域の課題解決等への市民の積極的な参加が期待される。

(図表1-2)

図表1-3 地域への関心度・武蔵野市全体について (性別)

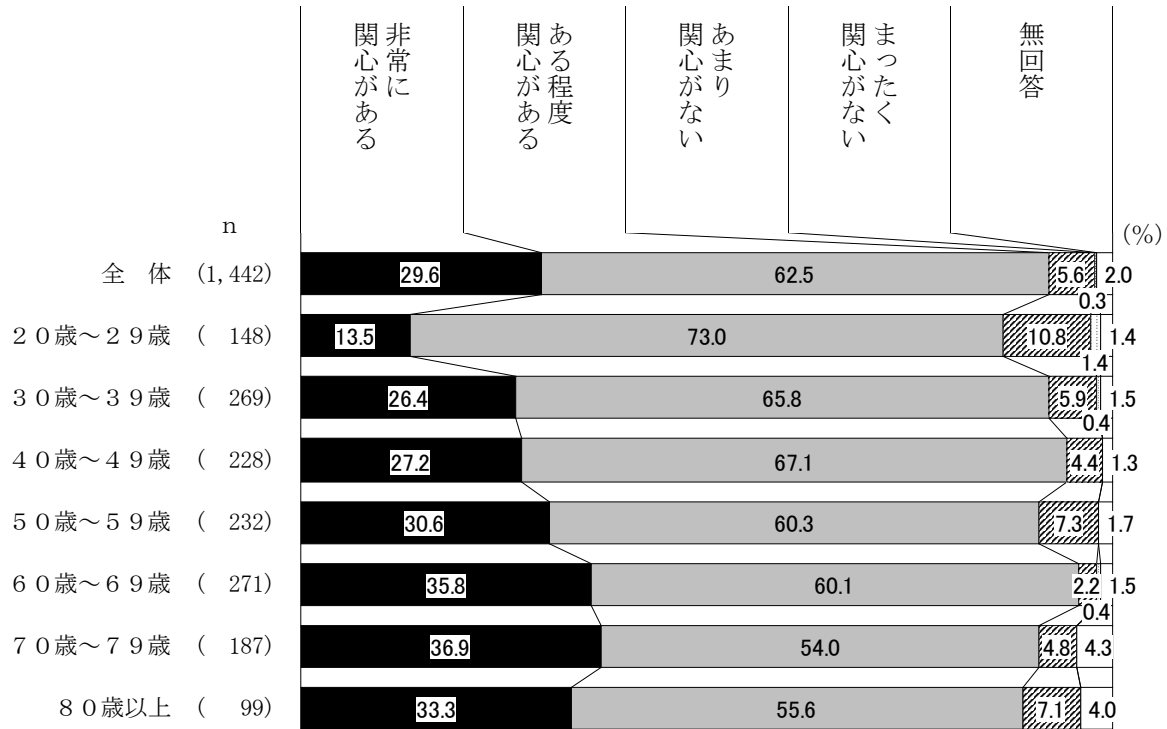


図表1-4 地域への関心度・お住まいの地域について (性別)

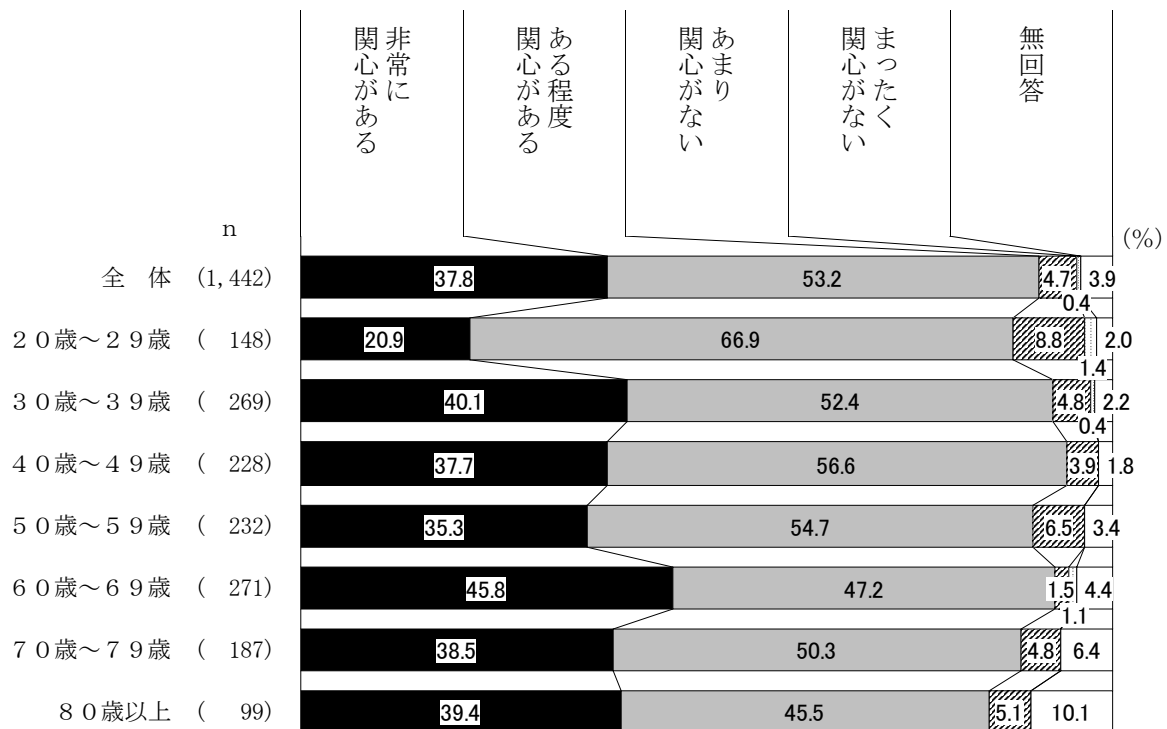


性別で見ると、「武蔵野市全体について」「お住まいの地域について」ともに《関心がある》は女性の方が男性よりも多いが、特に大きな違いは見られない。(図表1-3、図表1-4)

図表 1-5 地域への関心度・武蔵野市全体について (年代別)

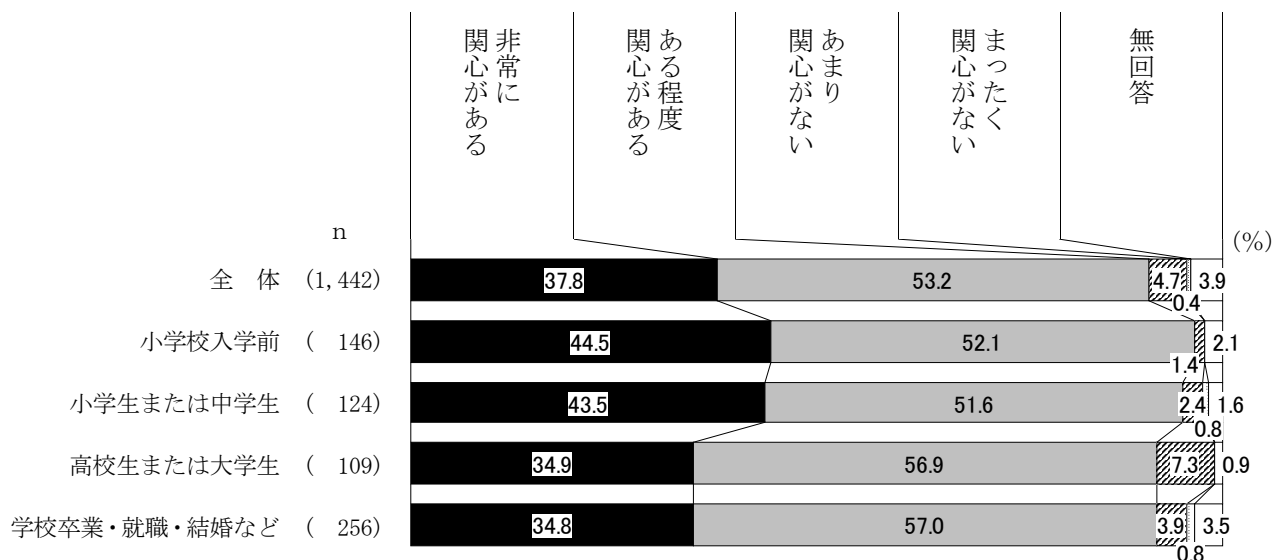


図表 1-6 地域への関心度・お住まいの地域について (年代別)



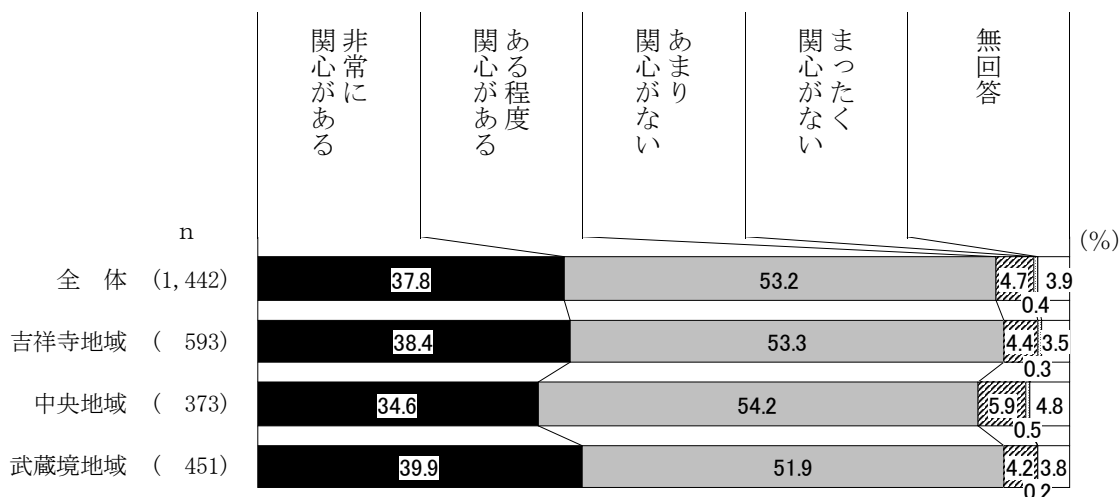
年代別で見ると、「武蔵野市全体について」では、「興味がある」は20歳～29歳と80歳以上を除いたいずれの年代でも9割を超えている。「非常に興味がある」は70歳～79歳で3割台半ばを超えて最も多い。次いで、60歳～69歳で3割台半ばとなっている。「お住まいの地域について」では、「興味がある」は30歳～69歳の各年代で9割を超えている。「非常に興味がある」は60歳～69歳で4割台半ばで最も多い。次いで、30歳～39歳が約4割となっている。(図表1-5、図表1-6)

図表 1-7 地域への関心度・お住まいの地域について (一番下のお子さんの状況別)



一番下のお子さんの状況別で見ると、「お住まいの地域について」では、「興味がある」は小学校入学前で9割台半ばを超えて最も多く、小学生または中学生で9割台半ばである。また、「非常に興味がある」では、小学校入学前、小学生または中学生でそれぞれ4割台半ば近くとなっている。子育てや子どもの教育の初期段階の家庭では、地域との関わりが強いことが分かる。(図表1-7)

図表 1-8 地域への関心度・お住まいの地域について (居住地域別)



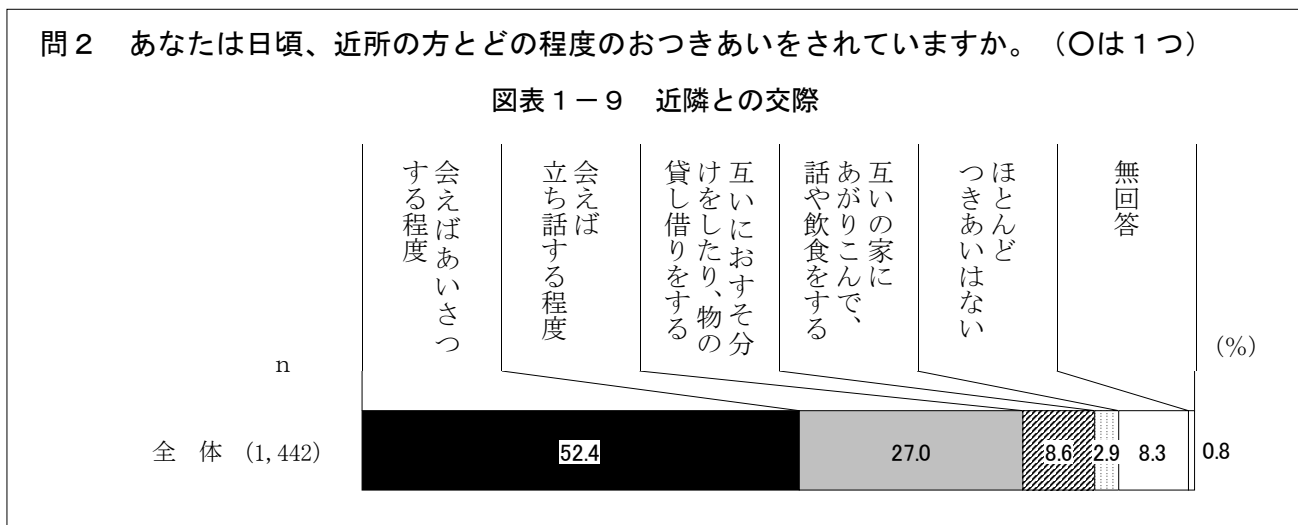
居住地域別で見ると、「お住まいの地域について」では、「興味がある」は中央地域を除いた地域で9割強となっている。「非常に興味がある」は武蔵境地域で4割弱と最も多い。(図表1-8)

1-2 近隣との交際

◎ 「会えばあいさつする程度」が5割強、「会えば立ち話する程度」が2割台半ばを超える

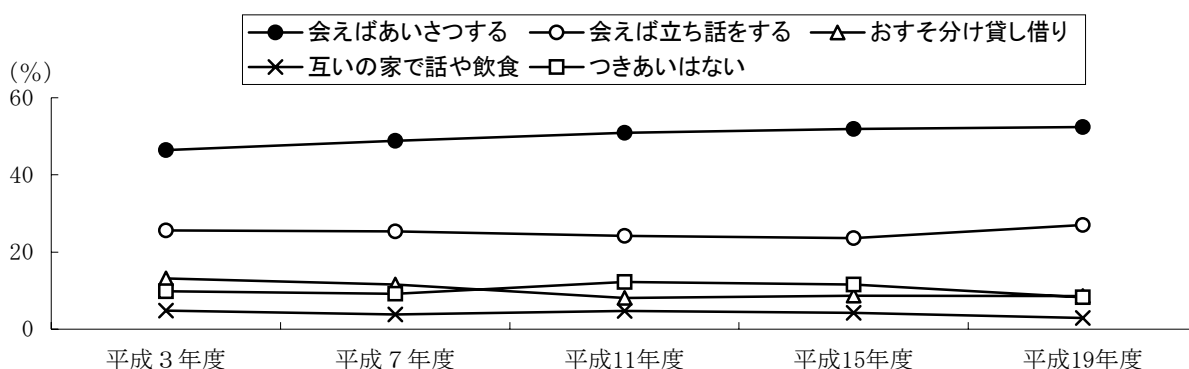
問2 あなたは日頃、近所の方とどの程度のおつきあいをされていますか。(○は1つ)

図表1-9 近隣との交際



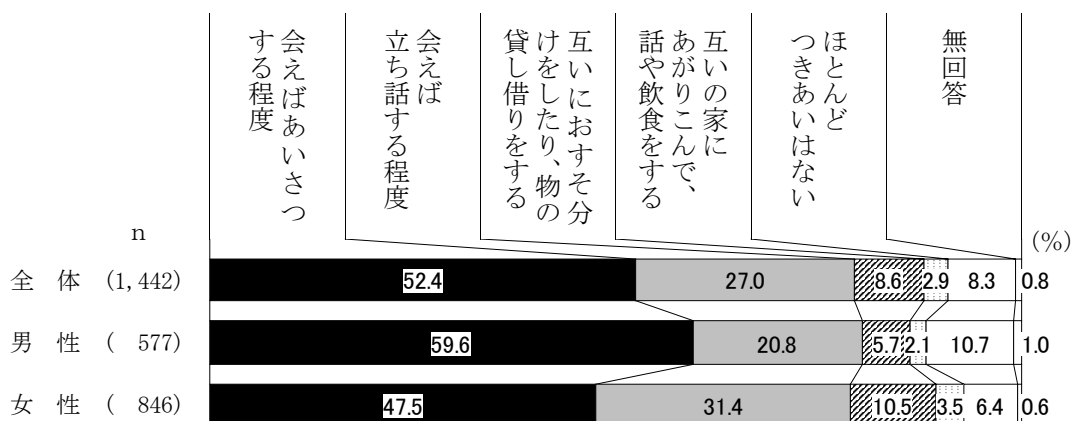
近隣との交際としては、「会えばあいさつする程度」(52.4%)が5割強で最も多く、次いで、「会えば立ち話する程度」(27.0%)が2割台半ばを超えている。(図表1-9)

図表1-10 近隣との交際(経年比較)



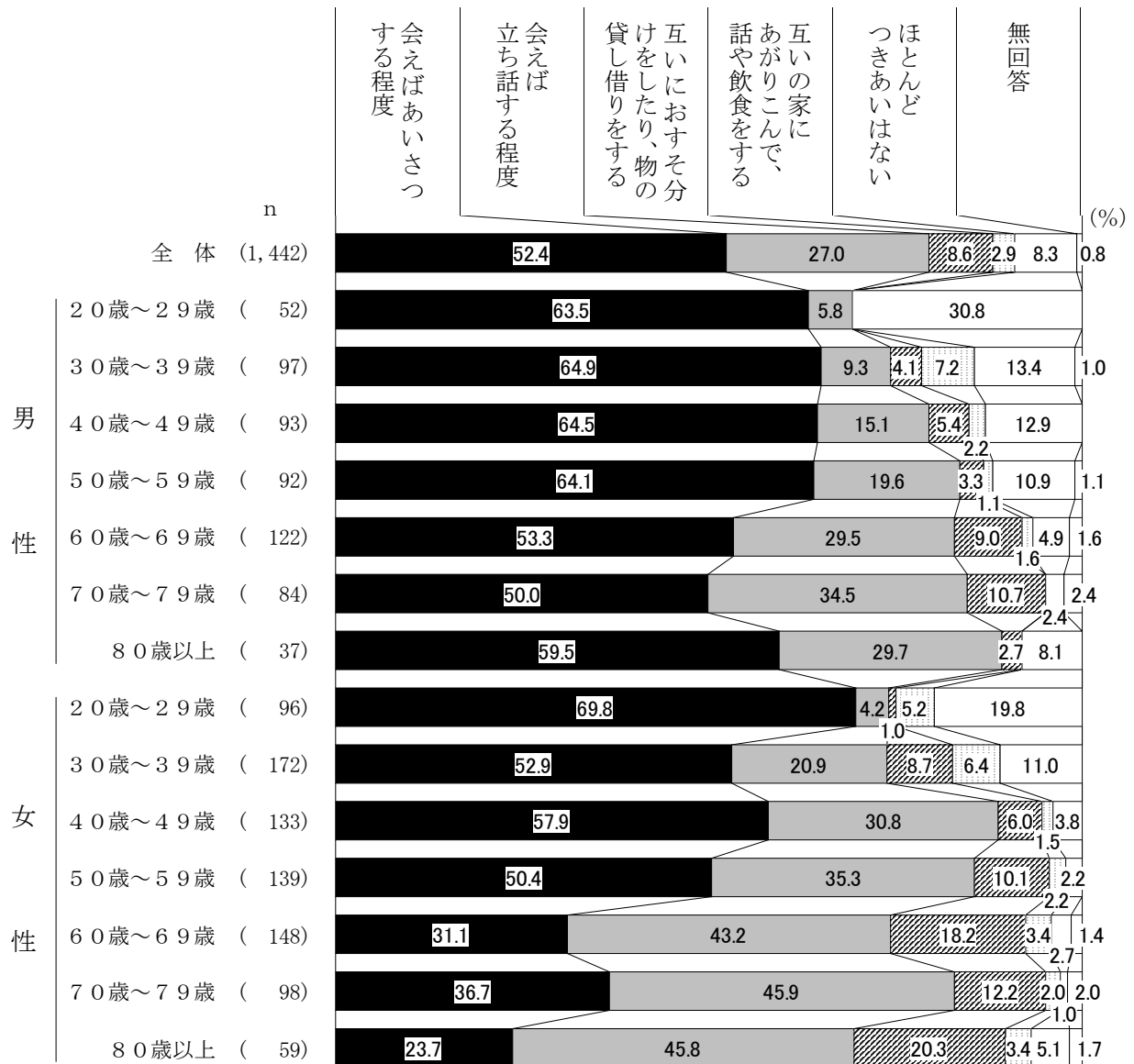
過去の調査と比較すると、特に大きな違いは見られず、近隣との交際の程度に大きな変化はないようである。(図表1-10)

図表1-11 近隣との交際(性別)



性別で見ると、「会えばあいさつする程度」では、男性の方が女性よりも12.1ポイント多くなっている。また、「会えば立ち話する程度」では、女性の方が男性よりも10.6ポイント多い。(図表1-11)

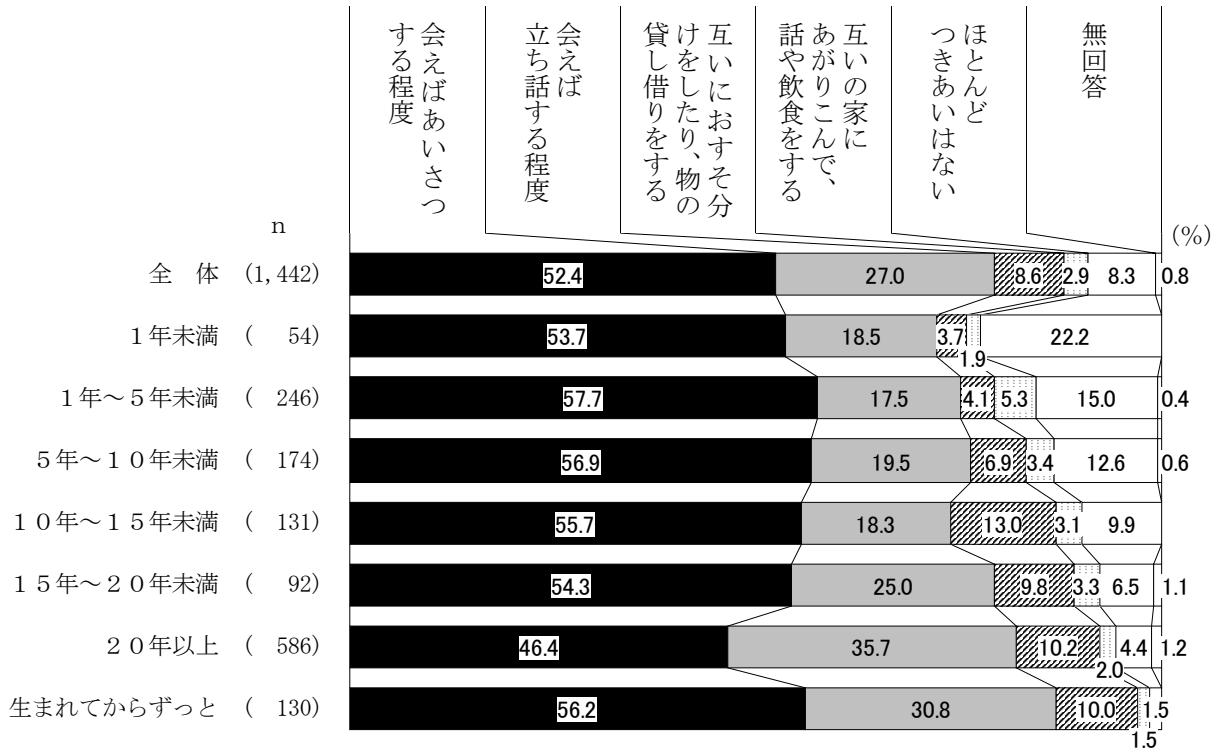
図表 1-12 近隣との交際 (性/年代別)



性/年代別で見ると、「会えばあいさつする程度」では、女性の20歳~29歳で7割弱と最も多く、男性の20歳~59歳の各年代で6割台半ばに近い。「会えば立ち話する程度」では、男女ともに年代が上がるほど増加しており、特に女性の70歳以上の各年代で4割台半ばとなっている。「ほとんどつきあいはない」では、男性の20歳~29歳で約3割、女性の20歳~29歳で2割弱と多い。

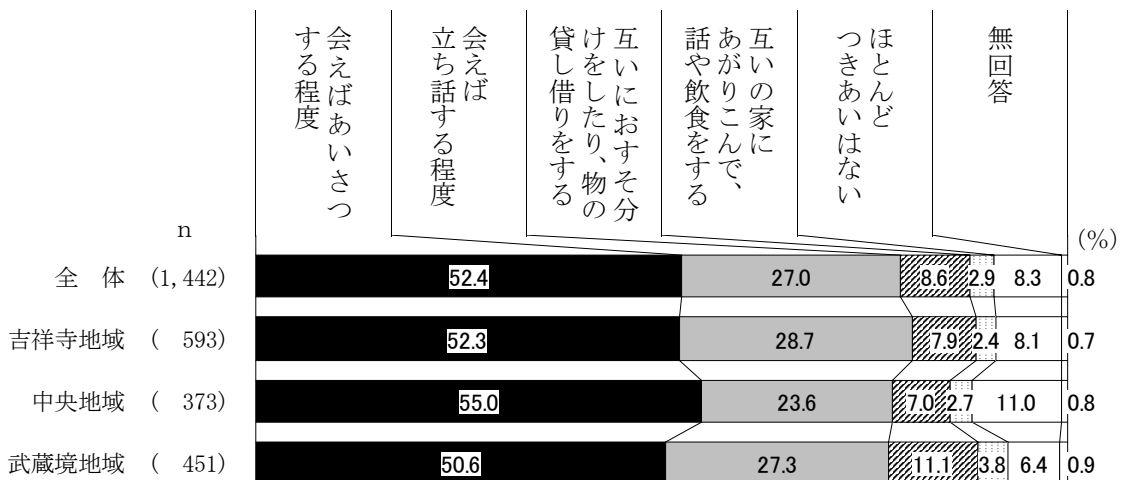
近隣との交際の程度は、男性よりも女性の方が深く、年代が高くなるほど交際の程度が深くなる傾向がある。男性では60歳以上になると大きく「会えば立ち話する程度」が増えることから、一般に定年退職後は近隣との関わりが増えるようである。女性では、20歳~29歳では男性と同様の傾向を示しているが、30歳以上になると交際の程度が深くなる。子育て等を契機に交際が始まると考えられる。また、女性の60歳以上では4割以上が「会えば立ち話をする程度」としており、この年代は、「互いにおすそ分けをしたり、物の貸し借りをする」も他の層よりも多くなっているなど特に近隣との関わりが強い層であるといえる。(図表1-12)

図表 1-13 近隣との交際 (居住年数別)



居住年数別で見ると、「会えばあいさつする程度」では、20年以上を除いたいずれの年数でも5割を超えている。「会えば立ち話する程度」では、20年以上で3割台半ば、生まれてからずっとで約3割である。「ほとんどつきあいはない」では、1年未満で2割強と最も多く、年数が上がるほど減少している。(図表 1-13)

図表 1-14 近隣との交際 (居住地域別)



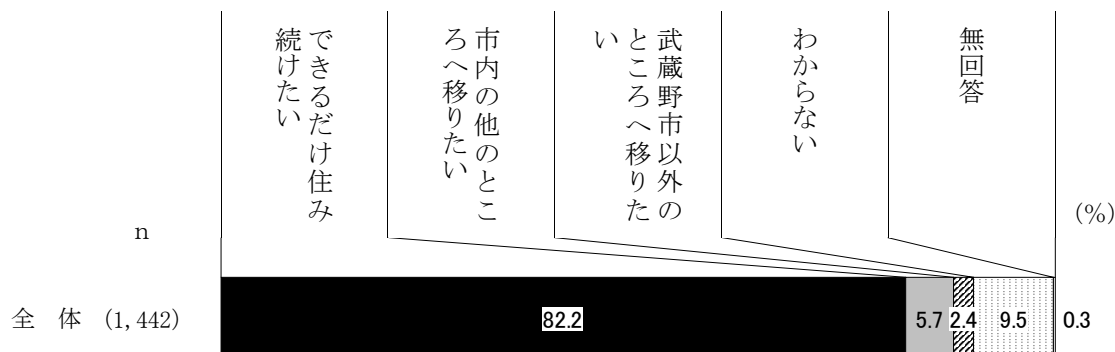
居住地域別で見ると、特に大きな違いは見られないものの、「ほとんどつきあいはない」では中央地域で1割強となっている。(図表 1-14)

1-3 定住意向

◎ 「できるだけ住み続けたい」が8割強と最も多い

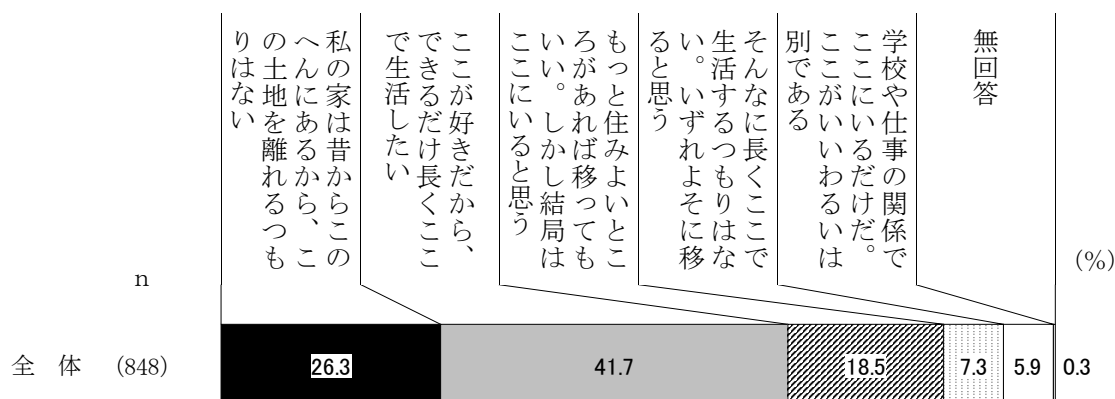
問3 あなたは、現在住んでいるところにこれからも住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

図表1-15 定住意向



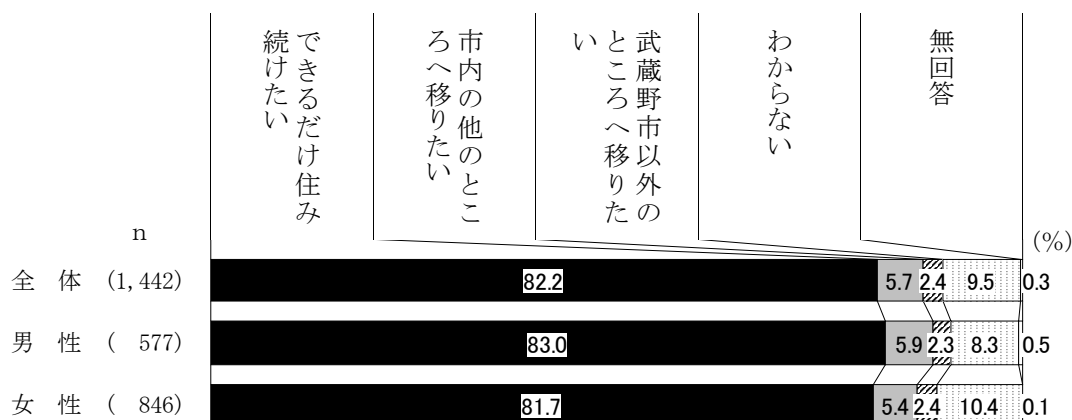
定住意向としては、「できるだけ住み続けたい」(82.2%)が8割強と最も多くなっている。(図表1-15)

参考：平成15年度調査の結果



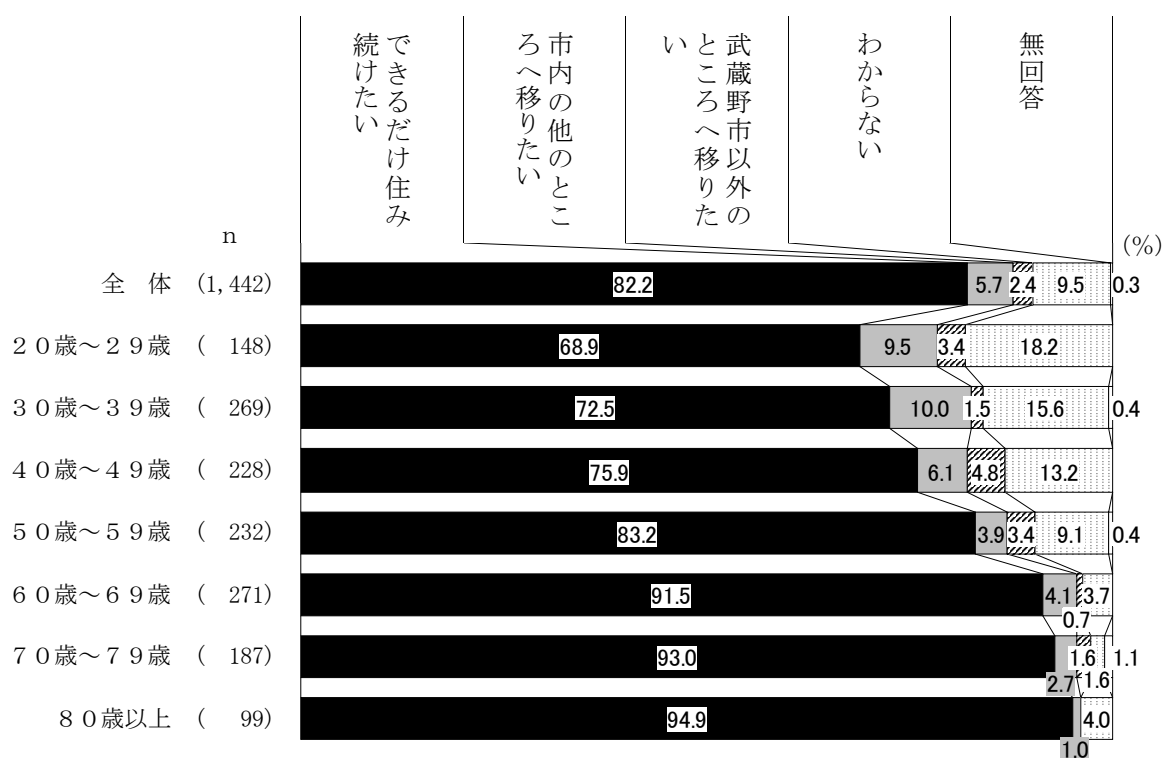
過去の調査とは選択肢が異なるため、比較することは難しいが、平成15年度調査の「私の家は昔からこのへんにあるから、この土地を離れるつもりはない」と「ここが好きだから、できるだけ長くここで生活したい」を積極的な定住意向を持つ人と定義すると、68.0%となっている。今回の「できるだけ住み続けたい」はこれを14.2ポイント上回っており、定住意向は大幅に高まっているといえる。

図表 1-16 定住意向 (性別)



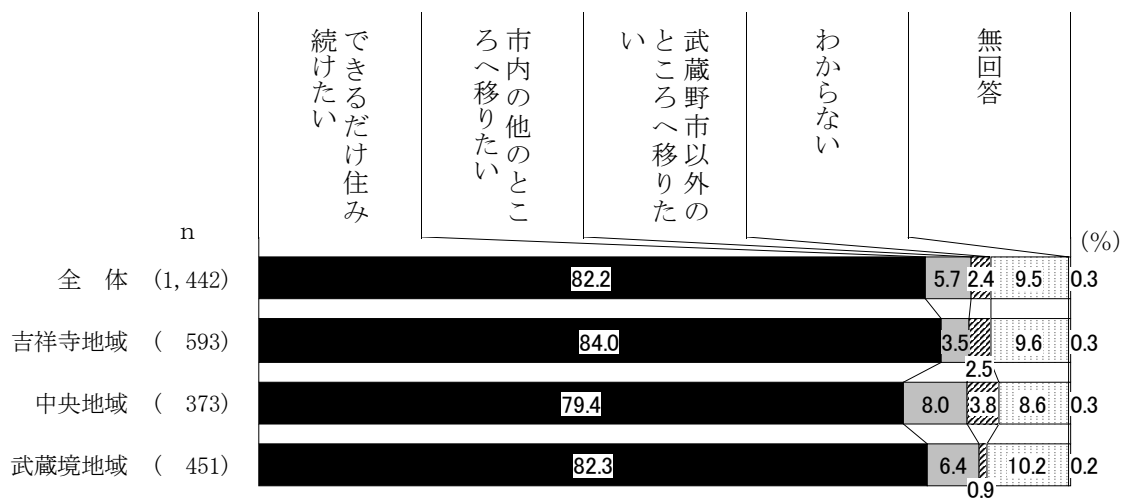
性別で見ると、特に大きな違いは見られない。(図表 1-16)

図表 1-17 定住意向 (年代別)



年代別で見ると、「できるだけ住みたい」では、年代が上がるほど増加し、60歳以上の各年代で9割を超えており、市内、特に現在の居住地への定住意向は非常に高くなっている。一方、20歳~29歳と30歳~39歳の若年層では、「わからない」が他の年代よりも多くなっている。これは、平成15年度調査の「学校や仕事の関係でここにいるだけだ。ここがいいわるいは別である(無関心型)」が若年層で1割前後と多いことと同様の傾向と考えられる。(図表 1-17)

図表 1-18 定住意向 (居住地域別)



居住地域別で見ると、「できるだけ住み続けたい」では、吉祥寺地域で8割台半ば近くと最も多い。「市内の他のところへ移りたい」は中央地域で他の地域よりも多くなっている。(図表 1-18)

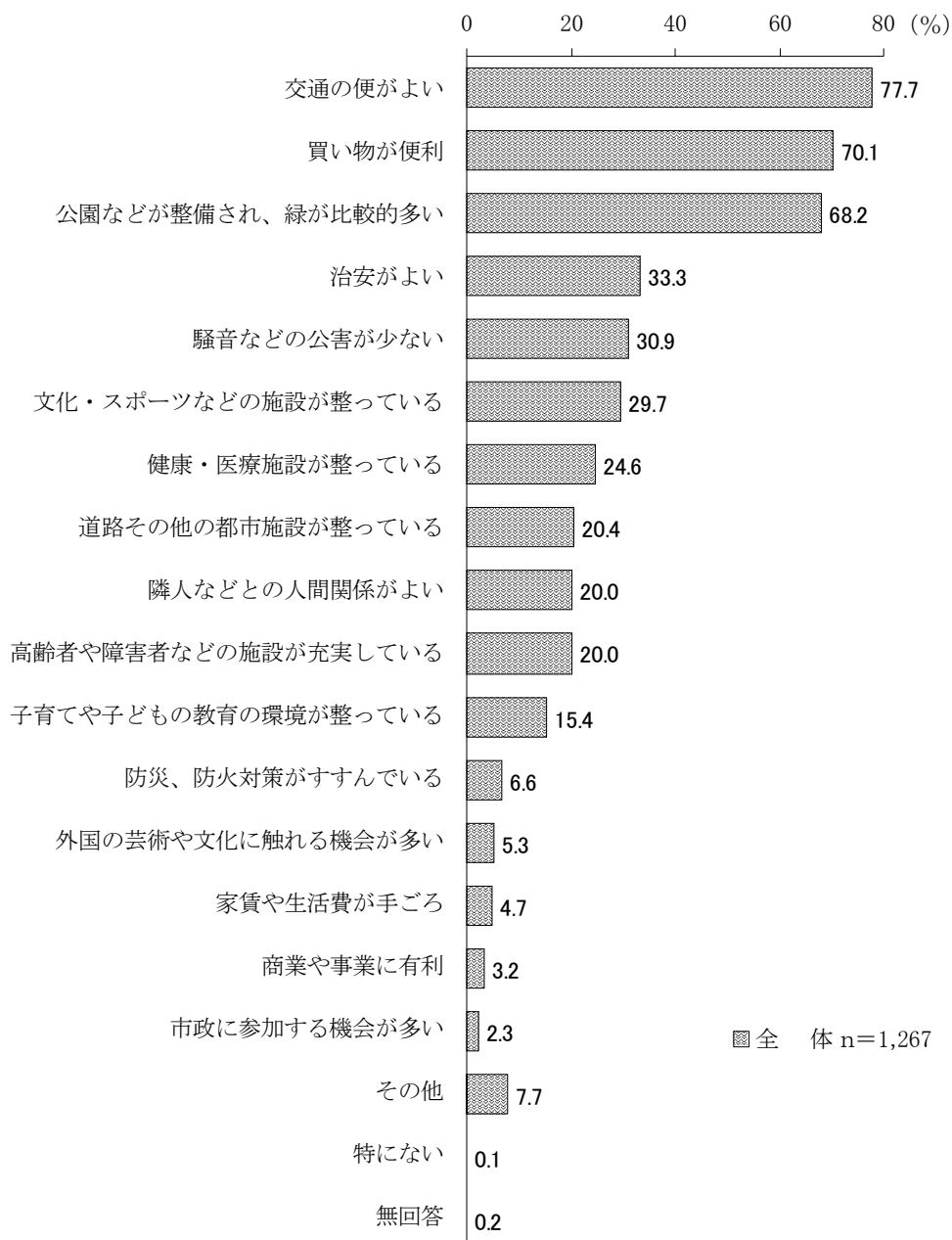
1-4 定住意向の理由

◎ 「交通の便がよい」、「買い物が便利」、「公園などが整備され、緑が比較的多い」が上位3項目

(問3で「できるだけ住み続けたい」か「市内の他のところへ移りたい」とお答えの方に)

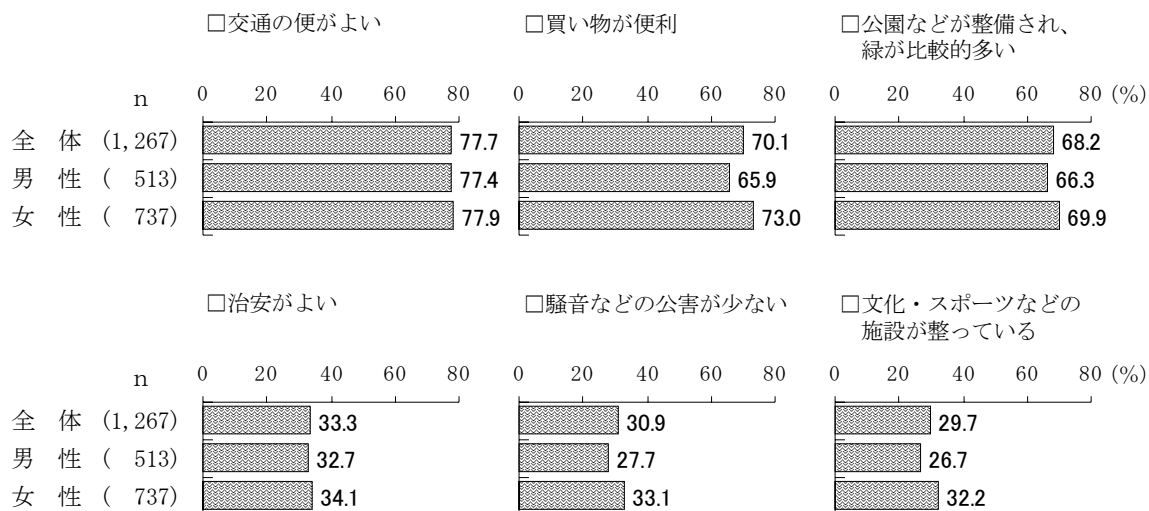
問3-1 武蔵野市内に住み続けたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図表1-19 定住意向の理由(複数回答)



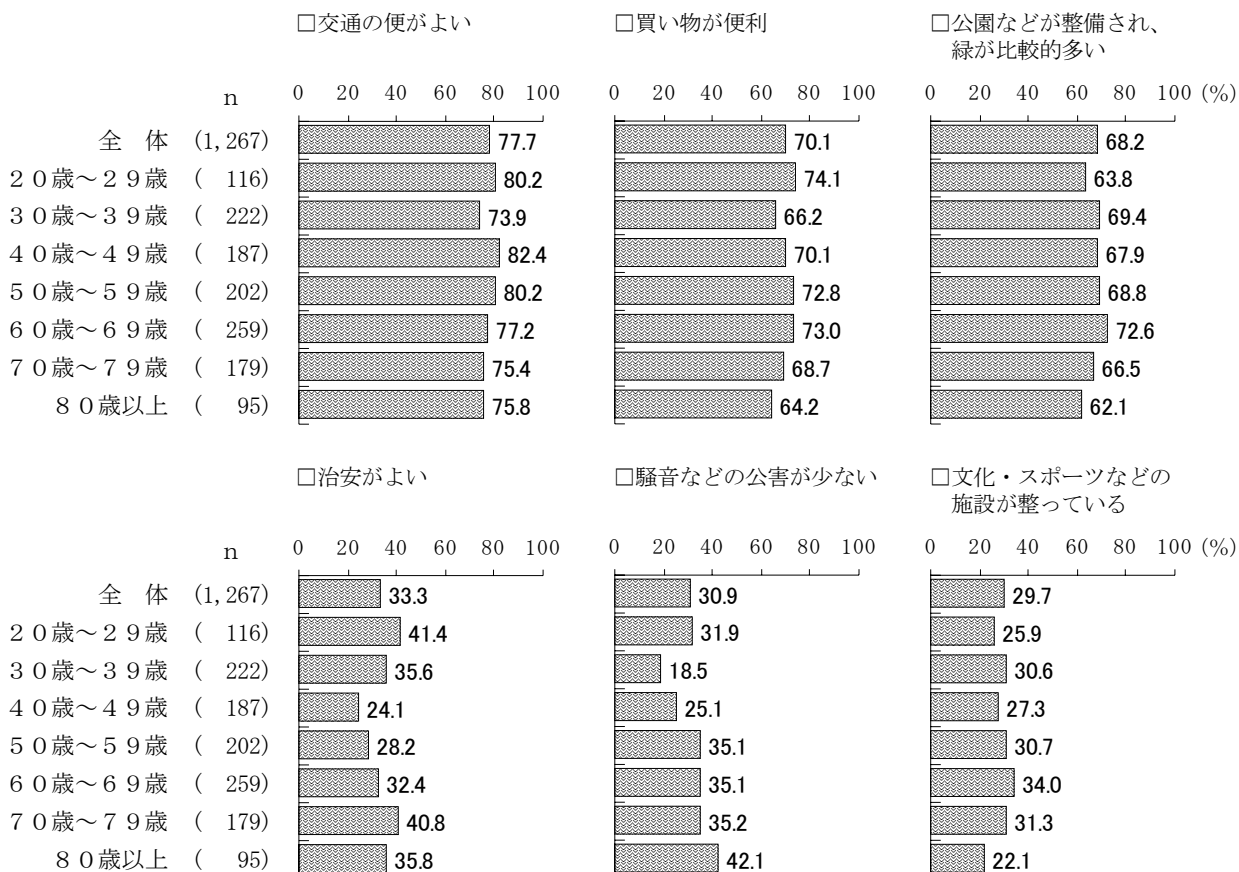
定住意向の理由としては、「交通の便がよい」(77.7%)が7割台半ばを超えて最も多い。次いで、「買い物が便利」(70.1%)が約7割、「公園などが整備され、緑が比較的多い」(68.2%)が7割近くである。「治安がよい」(33.3%)が3割台半ば近くで続く。(図表1-19)

図表 1-20 定住意向の理由 (性別) 上位 6 項目



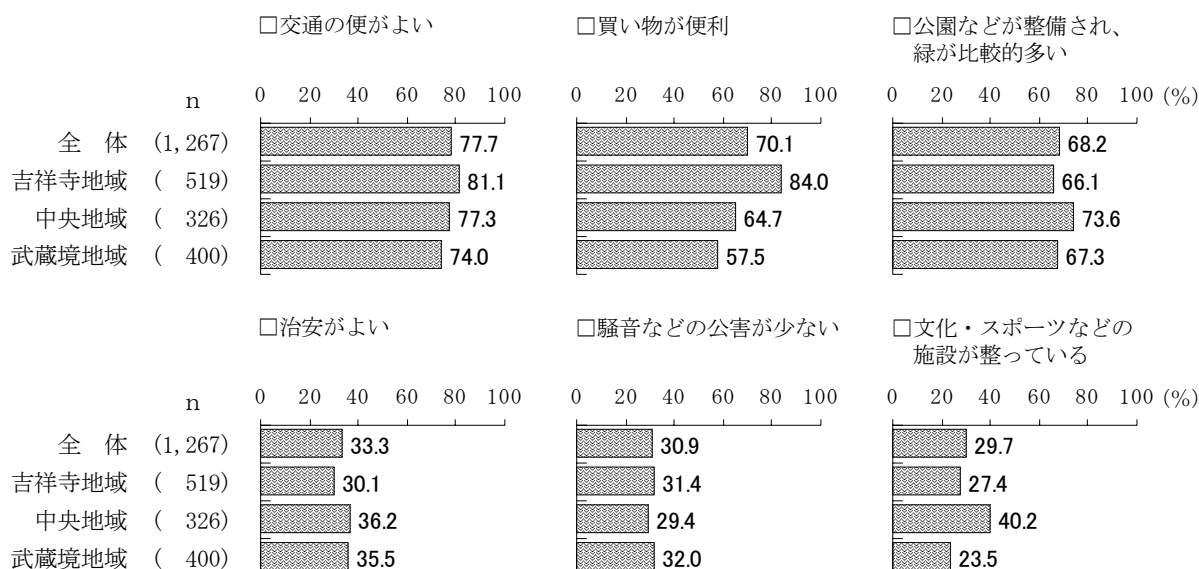
上位 6 項目について、性別で見ると、いずれも女性の方が多く、「買い物が便利」では、女性の方が男性よりも 7.1 ポイント、「文化・スポーツなどの施設が整っている」では 5.5 ポイント、「騒音などの公害が少ない」では 5.4 ポイント女性が男性を上回っている。(図表 1-20)

図表 1-21 定住意向の理由 (年代別) 上位 6 項目



年代別で見ると、「交通の便がよい」では、40歳～49歳で8割強、次いで20歳～29歳と50歳～59歳で約8割となっており、この年代では通勤、通学の利便性を重視する傾向が表れていると考えられる。「買い物が便利」では、20歳～29歳と60歳～69歳で7割台半ば近い。「公園などが整備され、緑が比較的多い」では、60歳～69歳で7割強と最も多い。「騒音などの公害が少ない」では、80歳以上で4割強となっている。（図表1-21）

図表1-22 定住意向の理由（居住地域別） 上位6項目



居住地域別で見ると、「交通の便がよい」では、吉祥寺地域で8割強となっている。「買い物が便利」では、吉祥寺地域で8割台半ば近く、その他の地域よりも特に多くなっている。「公園などが整備され、緑が比較的多い」では、中央地域で7割台半ば近くである。「治安がよい」は吉祥寺地域で他の地域よりも5ポイント以上少なくなっており、交通の便や買い物の便など利便性が高い一方で安全上の不安は他の地域よりも強いようである。「文化・スポーツなどの施設が整っている」では、中央地域で約4割と特に多くなっており、施設の利用状況にも違いが出ていると考えられる。（図表1-22）

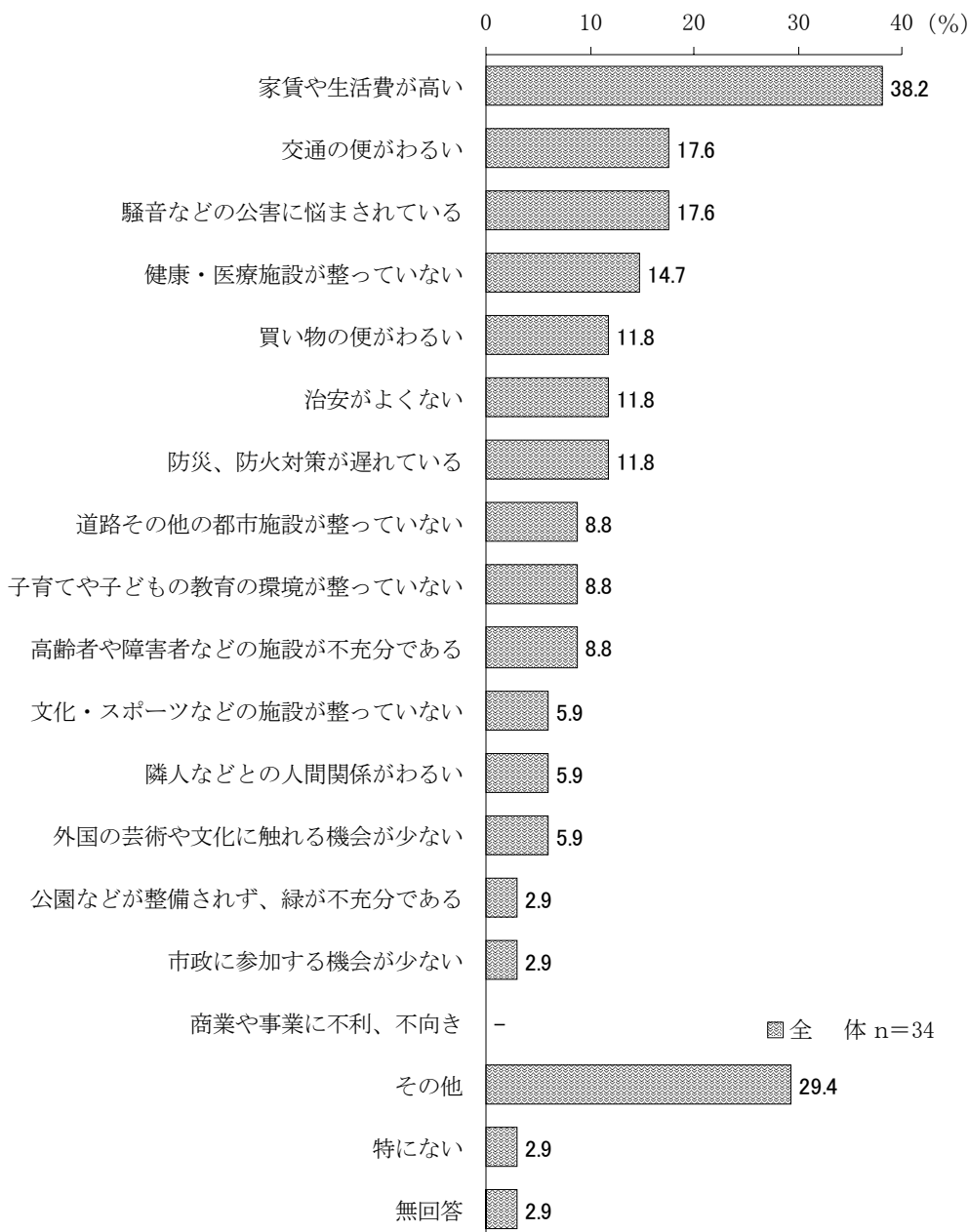
1-5 転出意向の理由

◎ 「家賃や生活費が高い」が4割近くで最も多い

(問3で「武蔵野市以外のところへ移りたい」とお答えの方に)

問3-2 武蔵野市外に移りたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図表1-23 転出意向の理由(複数回答)



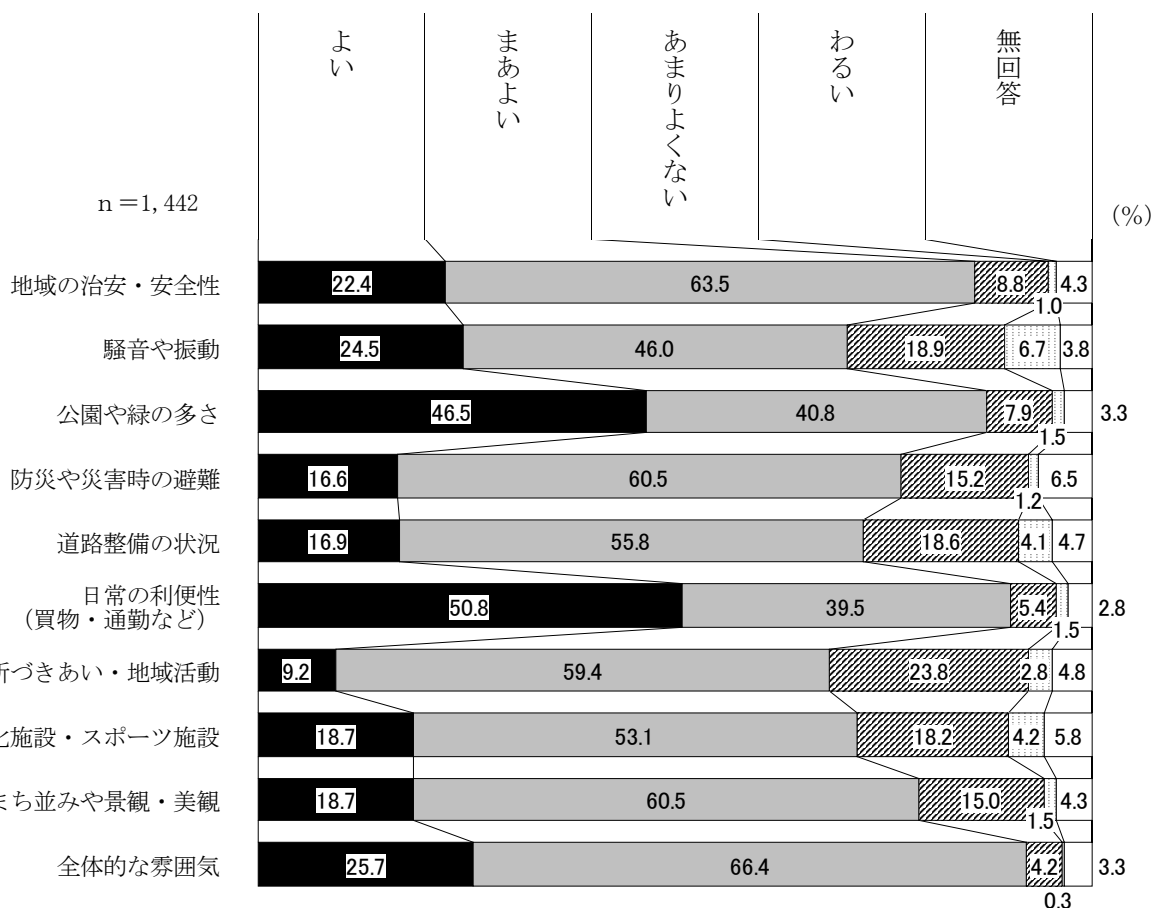
転出意向の理由としては、「家賃や生活費が高い」(38.2%)が4割近くで最も多い。次いで、「交通の便がわるい」と「騒音などの公害に悩まされている」(いずれも17.6%)が1割台半ばを超えて続く。(図表1-23)

1-6 生活環境の評価

- ◎ 「よい」が〔日常の利便性（買物・通勤など）〕で約5割、〔公園や緑の多さ〕で4割台半ばを超える。〔全体的な雰囲気〕では「まあよい」が6割台半ばを超える

問4 あなたは、お住まいの周りの環境についてどう思いますか。（○はそれぞれ1つ）

図表1-24 生活環境の評価



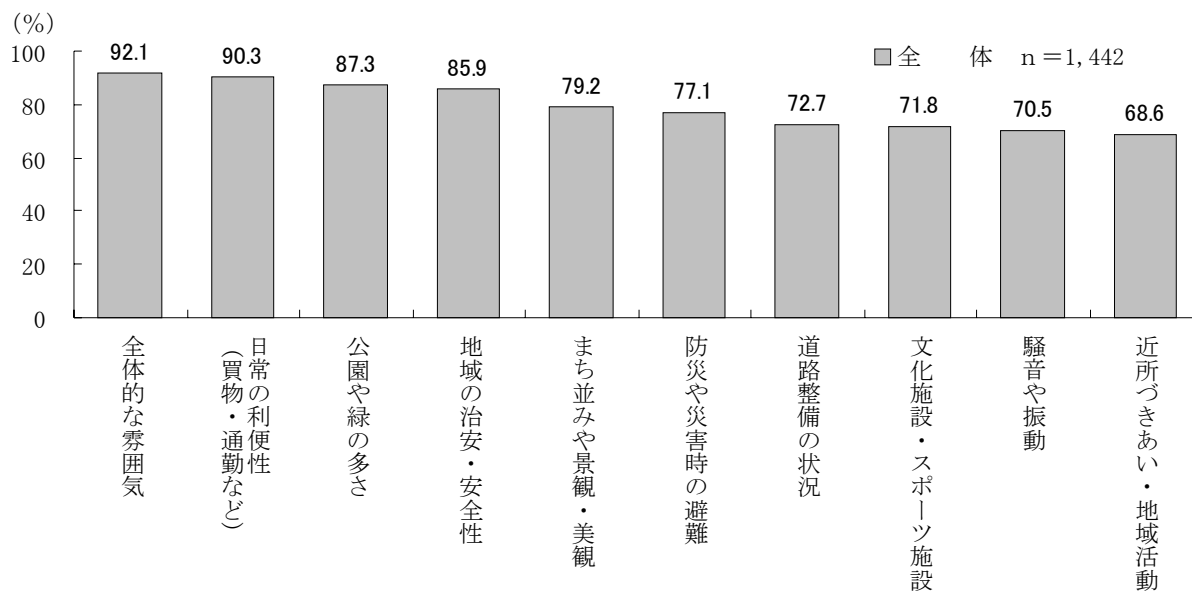
お住まいの地域について、生活環境の評価を10項目に分けて聞いた。

〔全体的な雰囲気〕では、「よい」（25.7%）が2割台半ば、「まあよい」（66.4%）が6割台半ばを超えている。「よい」が多い項目は、〔日常の利便性（買物・通勤など）〕（50.8%）が5割、〔公園や緑の多さ〕（46.5%）が4割台半ばとなっている。その他の項目では「まあよい」がそれぞれ最も多い。

（図表1-24）

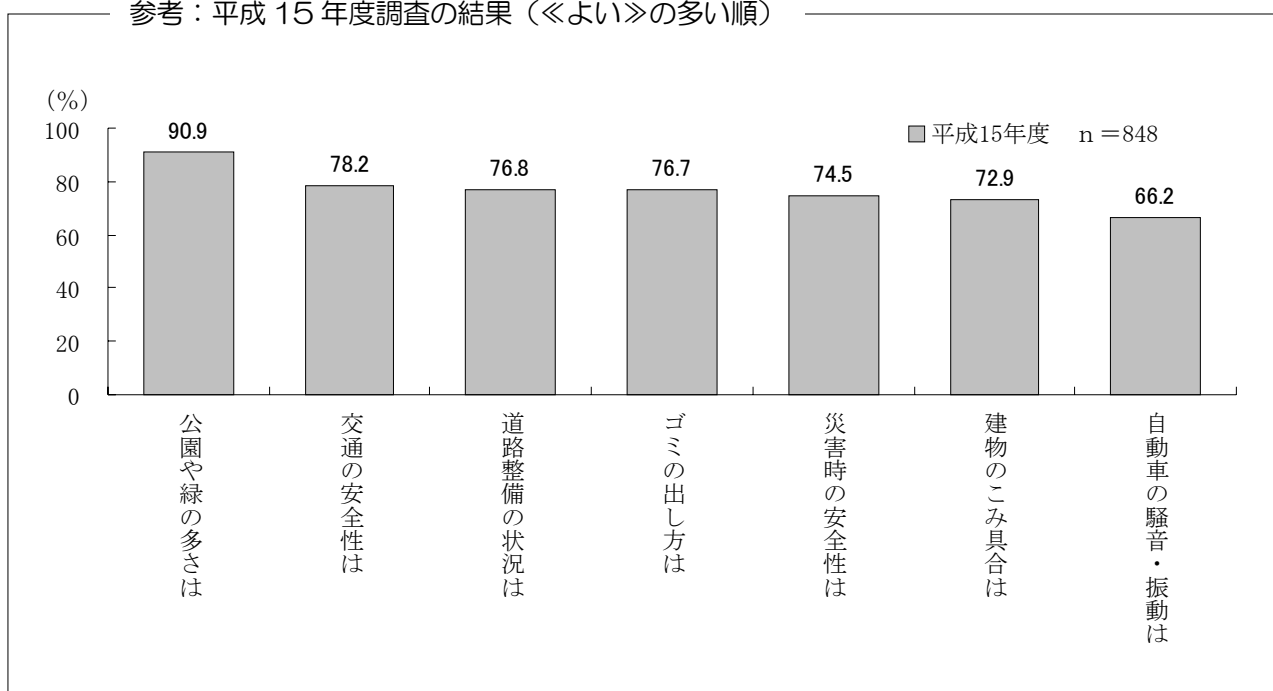
「よい」と「まあよい」を合わせた《よい》の多さでみると、〔全体的な雰囲気〕〔日常の利便性（買物・通勤など）〕では、9割を超えている。次いで、〔公園や緑の多さ〕では、8割台半ばを超え、〔地域の治安・安全性〕では、8割台半ばとなっている。（図表1-25）

図表 1-25 生活環境の評価（《よい》の多い順）



※《よい》の計算方法： 《よい》＝「よい」＋「まあよい」

参考：平成 15 年度調査の結果（《よい》の多い順）



過去の調査と比較すると、《よい》が増加しているのは、[まち並みや景観・美観]（平成 15 年は [建物のこみ具合]）で 6.3 ポイント、[騒音や振動]（同 [自動車の騒音・振動]）で 4.3 ポイント増などである。一方、《よい》が減少しているのは、[道路整備の状況] で 4.1 ポイント、[公園や緑の多さ] で 3.6 ポイント減などである。

図表 1-26 生活環境の評価（《よい》の多い順、性別・居住地域別）

(%)

地域 \ 順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	全体的な雰囲気 92.1	日常の利便性 (買物・通勤など) 90.3	公園や緑の多さ 87.3	地域の治安・ 安全性 85.9	まち並みや景観・ 美観 79.2
男性	全体的な雰囲気 93.2	日常の利便性 (買物・通勤など) 91.0	地域の治安・ 安全性 88.2	公園や緑の多さ 86.7	まち並みや景観・ 美観 79.5
女性	全体的な雰囲気 92.6	日常の利便性 (買物・通勤など) 90.2	公園や緑の多さ 88.2	地域の治安・ 安全性 84.9	まち並みや景観・ 美観 79.4
吉祥寺地域	日常の利便性 (買物・通勤など) 92.9	全体的な雰囲気 92.6	公園や緑の多さ 89.9	地域の治安・ 安全性 81.8	まち並みや景観・ 美観 76.9
中央地域	全体的な雰囲気 90.6	日常の利便性 (買物・通勤など) 89.8	地域の治安・ 安全性 89.0	公園や緑の多さ 87.9	文化施設・ スポーツ施設 84.5
武蔵境地域	全体的な雰囲気 93.1	地域の治安・ 安全性 88.4	日常の利便性 (買物・通勤など) 87.8	公園や緑の多さ 83.4	まち並みや景観・ 美観 81.1

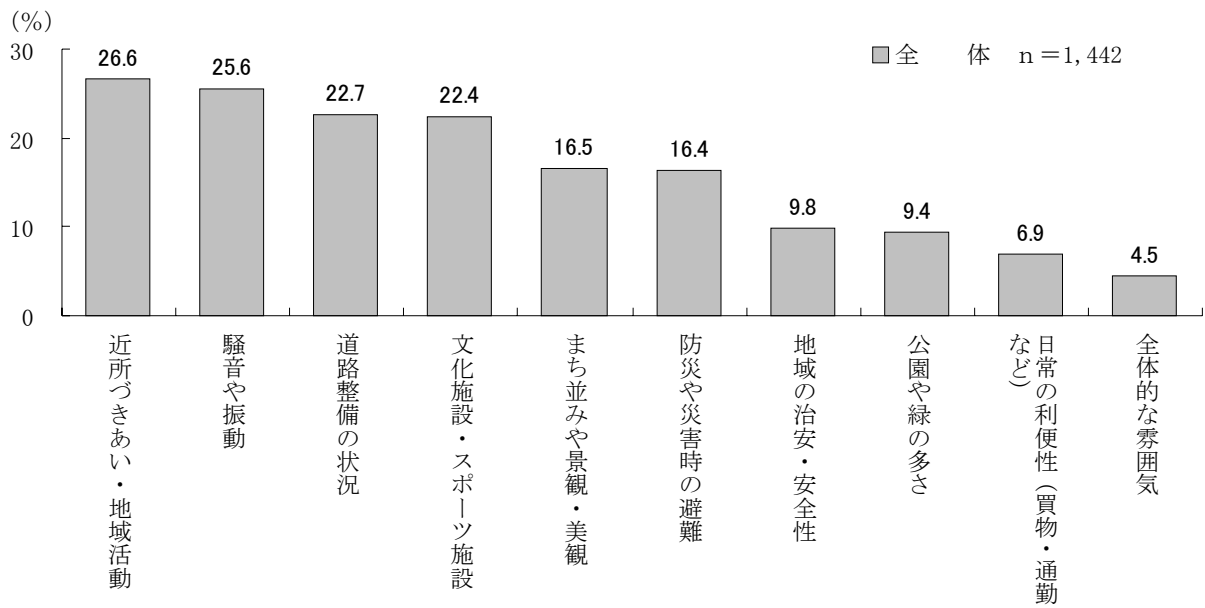
《よい》の上位5項目を各属性別に分析した。

性別で見ると、1位と2位は変わらないものの、男性で「地域の治安・安全性」が3位、女性で「公園や緑の多さ」が3位となっている。

居住地域別で見ると、吉祥寺地域で「日常の利便性（買物・通勤など）」が1位となっている。中央地域で「地域の治安・安全性」が3位、「文化施設・スポーツ施設」が5位となっている。武蔵境地域で、「地域の治安・安全性」が2位となっている。

吉祥寺地域では、定住意向の理由（問3-1）でも交通の便や買い物の便など利便性の高さが上げられている一方で治安については評価があまり高くはない。ここでも、「地域の治安・安全性」は他の地域と比べると少なく、同様の結果となっている。（図表1-26）

図表 1-27 生活環境の評価（《わるい》の多い順）



「あまりよくない」と「わるい」を合わせた《わるい》の多さでみると、〔近所づきあい・地域活動〕では、2割台半ばを超え、〔騒音や振動〕では、2割台半ばとなっている。次いで、〔道路整備の状況〕〔文化施設・スポーツ施設〕では2割強である。（図表 1-27）

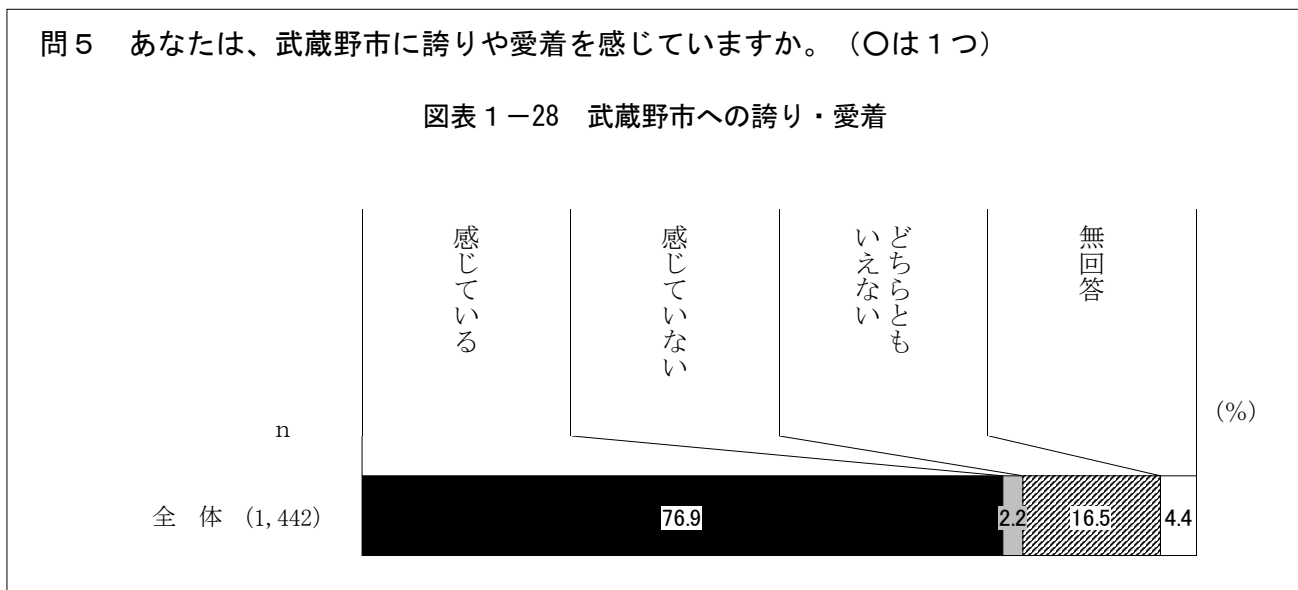
※《わるい》の計算方法： 《わるい》＝「あまりよくない」＋「わるい」

1-7 武蔵野市への誇り・愛着

◎ 「感じている」が7割台半ばを超えて最も多い

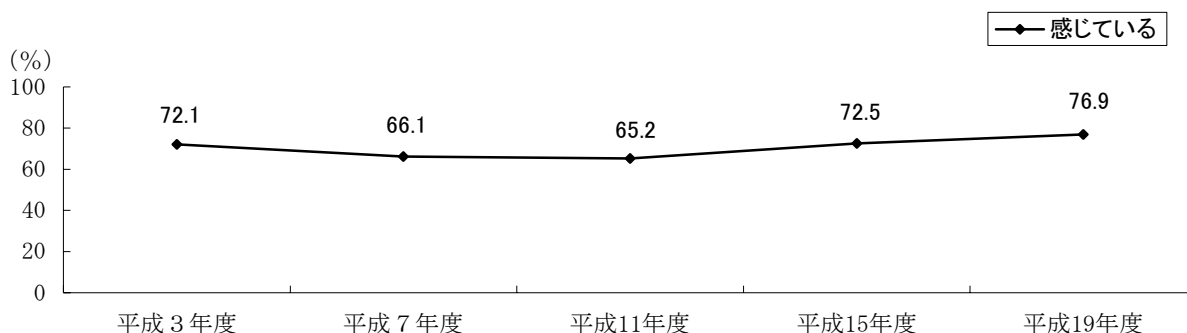
問5 あなたは、武蔵野市に誇りや愛着を感じていますか。(○は1つ)

図表1-28 武蔵野市への誇り・愛着



武蔵野市への誇り・愛着としては、「感じている」(76.9%)が7割台半ばを超えて最も多くなっている。(図表1-28)

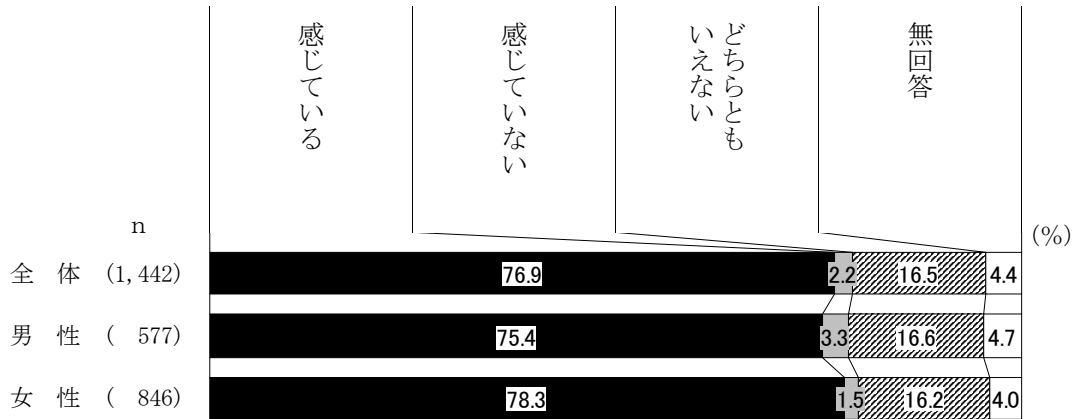
図表1-29 武蔵野市への誇り・愛着(経年比較)



※ 平成15年度調査以前では、選択肢「感じている」は「感じる」の表記となっている。

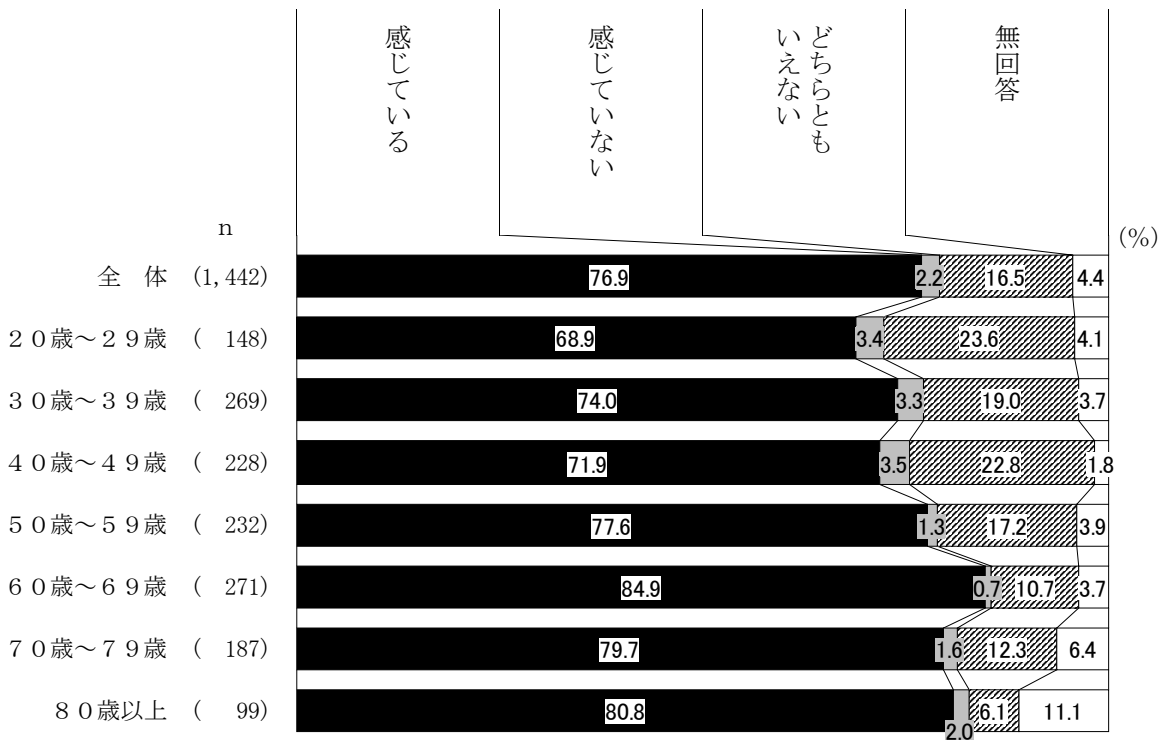
武蔵野市への誇り・愛着を「感じている」割合を過去の調査と比較すると、「感じている」は平成11年度以降、増加する傾向にあり、平成19年度(76.9%)が最も多くなっている。地域への関心度(武蔵野市全体についてとお住まいの地域について)(問1)、定住意向(問3)の高まりとともに市への誇り・愛着が増加していることで、市への総合的な評価は上昇していると考えられる。(図表1-29)

図表 1-30 武蔵野市への誇り・愛着 (性別)



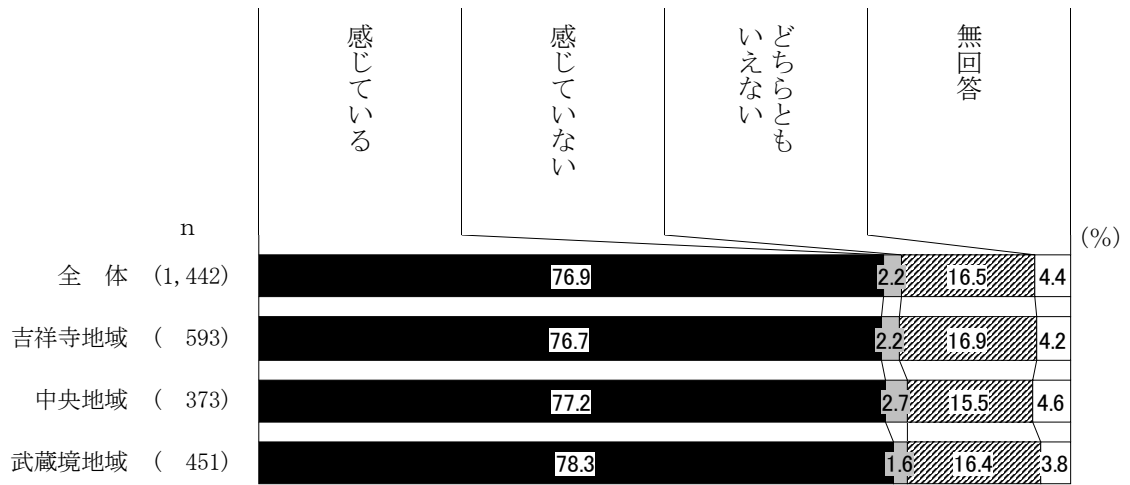
性別で見ると、「感じている」では、女性の方が男性よりも多いが、特に大きな違いは見られない。(図表 1-30)

図表 1-31 武蔵野市への誇り・愛着 (年代別)



年代別で見ると、「感じている」は60歳~69歳で8割台半ば近くと最も多く、70歳以上の各年代でも8割前後となっており、高年齢層で比較的多い傾向がある。また、「どちらともいえない」は20歳~29歳、40歳~49歳で2割を超え、30歳~39歳で2割近くと比較的多くなっている。(図表 1-31)

図表 1-32 武蔵野市への誇り・愛着 (居住地域別)



居住地域別で見ると、「感じている」はすべての地域で7割台半ばを超えており、大きな違いは見られない。(図表 1-32)